

平成17年3月期

# 中間決算説明資料

カブドットコム証券株式会社

平成16年10月22日(金)



## カブドットコム証券

カブドットコム証券イメージキャラクター  
坪井慶介選手(浦和レッドダイヤモンズ)

# 目次

- I 平成17年3月期中間決算内容**
4. 平成17年3月期中間 決算サマリー
  5. 平成17年3月期中間 決算概要
  6. 平成17年3月期中間 販管費サマリー
  7. 直近半期毎 決算推移
  8. 直近四半期毎 決算推移
  9. 直近四半期毎 販管費状況
  10. 半期ベースでの決算トレンド
  11. コストカバー率(オンライン專業証券比較)
  12. 常勤役職員1人あたりの経営数値

## 補助資料

13. 総合口座数と信用口座数
14. 総合口座増加数と信用口座増加数
15. 預り資産推移
16. 入出金額推移
17. 1日あたり株式注文および約定
18. 株式差引入庫額-1
19. 株式差引入庫額-2
20. 手数料率と株式1約定あたり売買代金
21. 株式シェアの推移
22. 信用建玉残高と金融収支の推移
23. オプション取引シェアの推移
24. 先物取引シェアの推移
25. 信用取引評価損益率
26. 信用取引評価損益率(較差)
27. 口座振替(自動引落)登録件数

**II その他開示等**

29. 当中間期の取り組み
30. サポートセンター関連の開示
31. システム関連の開示-1
32. システム関連の開示-2
33. システム関連の開示-3
34. SLA(サービス品質保証制度)関連の開示
35. 知的財産関連の開示
36. 個人投資家啓蒙活動
37. コーポレート・ガバナンスの特徴-1
38. コーポレート・ガバナンスの特徴-2

# I 平成17年3月期中間決算内容

## 平成17年3月期中間 決算サマリー

- ・当中間期は、半期ベースで過去最高益。
- ・経常利益は昨年度のほぼ1年分を達成。
- ・2001年以降、半期ベースで  
増収増益を続けるのは大手オンライン専門証券中当社のみ。

→前年同期比で営業収益約1.9倍、経常利益約2.3倍

# 平成17年3月期中間 決算概要

営業収益5,378百万円は前年同期比約1.9倍、経常利益2,573百万円は前年同期比約2.3倍。

(単位:百万円)

	平成16年3月期 中間	平成17年3月期 中間	前年同期比増減率
営業収益	2,782	5,378	93%
受入手数料	2,277	4,245	86%
金融収益	506	1,147	126%
金融費用	375	679	81%
純営業収益	2,407	4,699	95%
販管費	1,284	2,108	64%
営業利益	1,123	2,590	130%
経常利益	1,101	2,573	133%
税引前利益	854	2,449	186%
当期利益	854	2,103	146%

# 平成17年3月期中間 販管費サマリー

前年同期比で経常利益は約2.3倍だが、販管費は約1.6倍に抑え、高い経営効率を達成。

(単位:百万円)

	平成16年3月期中間		平成17年3月期中間		前年同期比増減率
		(構成比)		(構成比)	
<b>販管費合計</b>	1,284	—	2,108	—	63%
<b>取引関係費</b>	555	43%	1,056	50%	90%
広告宣伝費	71	—	193	—	—
その他	484	—	863	—	—
<b>人件費</b>	182	14%	286	14%	57%
<b>不動産関係費</b>	285	22%	377	18%	32%
<b>事務費</b>	134	10%	192	9%	43%
<b>租税公課</b>	11	1%	46	2%	318%
<b>減価償却費</b>	104	8%	132	6%	27%
<b>その他販管費</b>	10	1%	17	1%	70%

# 直近半期毎 決算推移

当中間期も増収増益。経常利益は2,573百万円と前年度通期並みの実績を達成。

(単位:百万円)

	平成16年3月期			平成17年3月期		
	上期 計 (4月 - 9月)	下期 計 (10月 - 3月)	通期 計	上期 計 (4月-9月)	前年上期比 増減率	前年下期比 増減率
<b>営業収益</b>	2,782	3,786	6,569	<b>5,378</b>	93%	42%
受入手数料	2,277	3,062	5,340	<b>4,245</b>	86%	39%
金融収益	506	757	1,264	<b>1,147</b>	126%	51%
<b>金融費用</b>	375	541	916	<b>679</b>	81%	25%
<b>純営業収益</b>	2,407	3,245	5,652	<b>4,699</b>	95%	45%
<b>販管費</b>	1,284	1,632	2,916	<b>2,108</b>	64%	29%
<b>営業利益</b>	1,123	1,612	2,735	<b>2,590</b>	131%	61%
<b>経常利益</b>	1,101	1,476	2,578	<b>2,573</b>	134%	74%
<b>税引前利益</b>	854	1,383	2,238	<b>2,449</b>	187%	77%
<b>半期(当期)利益</b>	854	2,183	3,037	<b>2,103</b>	146%	-4%

# 直近四半期毎 決算推移

(単位:百万円)

	平成16年3月期				平成17年3月期		
	第1四半期 (4月-6月)	第2四半期 (7月-9月)	第3四半期 (10月-12月)	第4四半期 (1月-3月)	第1四半期 (4月-6月)	第2四半期 (7月-9月)	直前 四半期比 増減率
<b>営業収益</b>	1,169	1,612	1,693	2,093	2,851	<b>2,527</b>	-11%
受入手数料	946	1,331	1,366	1,696	2,291	<b>1,953</b>	-15%
金融収益	223	283	329	427	574	<b>572</b>	0%
<b>金融費用</b>	170	204	229	311	416	<b>262</b>	-31%
<b>純営業収益</b>	998	1,408	1,463	1,781	2,434	<b>2,264</b>	-7%
<b>販管費</b>	609	674	716	916	1,044	<b>1,064</b>	2%
<b>営業利益</b>	389	733	747	865	1,389	<b>1,200</b>	-14%
<b>経常利益</b>	384	716	737	739	1,366	<b>1,207</b>	-12%
<b>税引前利益</b>	346	508	698	684	1,304	<b>1,144</b>	-12%
<b>四半期(当期)利益</b>	345	508	698	1,485	1,303	<b>799</b>	-39%
委託手数料/販管費率	151%	192%	185%	180%	213%	<b>175%</b>	-18%
1日あたり株式約定件数	11,526	15,413	15,736	21,015	27,403	<b>23,466</b>	-14%
(参考) 三市場株式個人委託 1日あたり約定金額	2,375億円	4,421億円	4,670億円	5,413億円	6,847億円	<b>4,779億円</b>	-30%

※三市場株式個人委託1日あたり約定金額は、東京証券取引所公表数値より当社算出



# 直近四半期毎 販管費状況

販管費は1,064百万円と直近四半期比ほぼ横ばいに留まる。

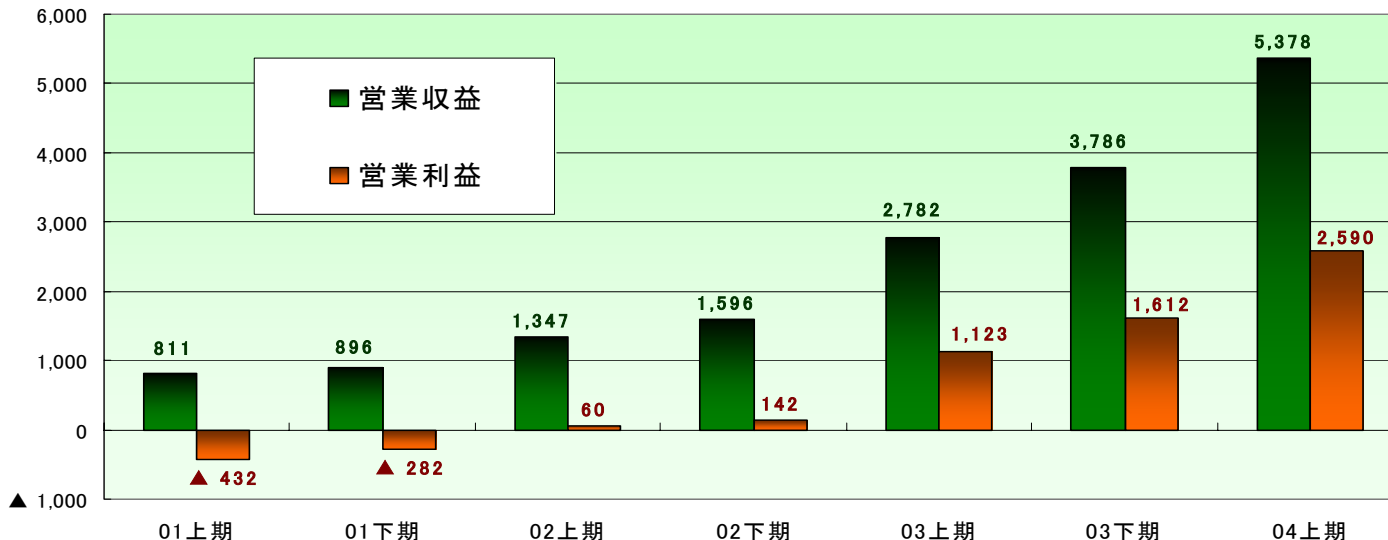
(単位:百万円)

	平成16年3月期				平成17年3月期		
	第1四半期 (4月-6月)	第2四半期 (7月-9月)	第3四半期 (10月-12月)	第4四半期 (1月-4月)	第1四半期 (4月-6月)	第2四半期 (7月-9月)	直前 四半期比 増減率
販管費合計	609	674	716	916	1,044	1,064	2%
取引関係費	264	291	360	446	532	524	-1%
広告宣伝費	43	28	71	123	95	99	5%
その他	221	262	289	322	437	426	-11%
人件費	82	100	85	156	162	124	-23%
不動産関係費	137	148	150	147	170	207	21%
事務費	65	68	51	73	97	94	-3%
租税公課	5	6	6	7	9	36	277%
減価償却費	51	53	55	59	65	66	2%
その他販管費	3	6	5	25	6	10	53%

# 半期ベースでの決算トレンド

当中間期は営業収益5,378百万円、営業利益2,590百万円と増収増益。合併以降、6半期連続で増収増益を達成。

(百万円) 当社営業収益・営業利益の推移(2001年度上期～2004年度上期)



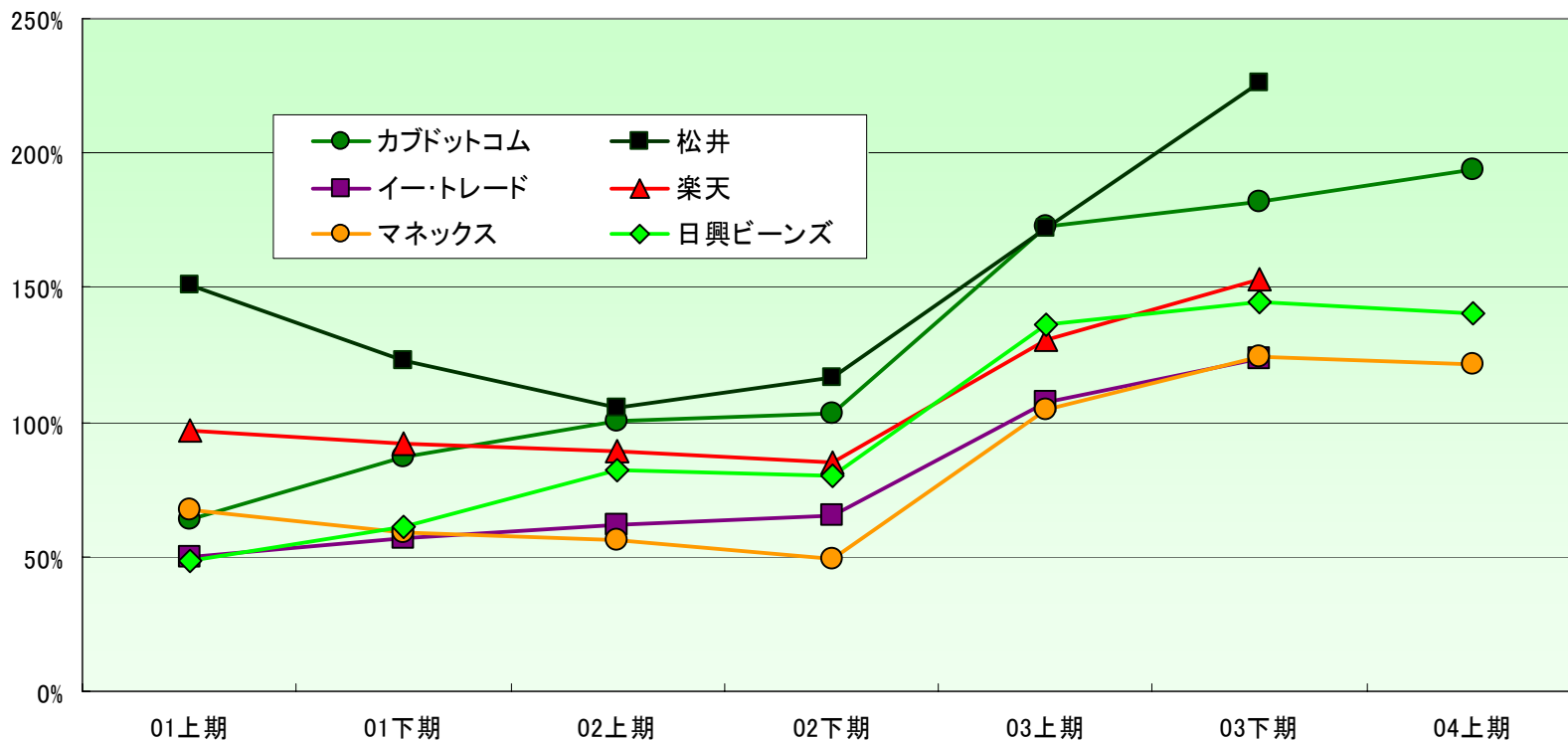
	カブドットコム		松井(単体)		イー・トレード(単体)		楽天		マネックス		日興ビーンズ	
	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益
01上期	811	▲ 432	6,094	2,456	3,549	353	2,996	119	1,707	▲ 449	1,146	▲ 897
01下期	896	▲ 282	6,691	1,901	4,111	678	2,947	▲ 1	1,574	▲ 787	1,081	▲ 455
02上期	1,347	60	6,977	1,651	3,892	331	3,039	10	1,452	▲ 833	1,425	43
02下期	1,596	142	6,448	1,876	3,882	146	2,975	▲ 83	1,314	▲ 932	1,445	23
03上期	2,782	1,123	10,074	4,986	5,959	1,601	4,443	1,315	3,181	768	2,948	1,085
03下期	3,786	1,612	14,963	9,297	8,805	3,200	5,898	2,355	4,617	1,828	4,326	1,793
04上期	5,378	2,590	--	--	--	--	--	--	5,532	2,085	4,762	1,951

※1 各社ホームページ等公表資料より当社作成

※2 灰色のセル部は前期比減の項目

# コストカバー率(オンライン専門証券比較)

当中間期では、委託手数料で販管費の約2倍をカバー。当社実績はオンライン専門証券中トップクラス。



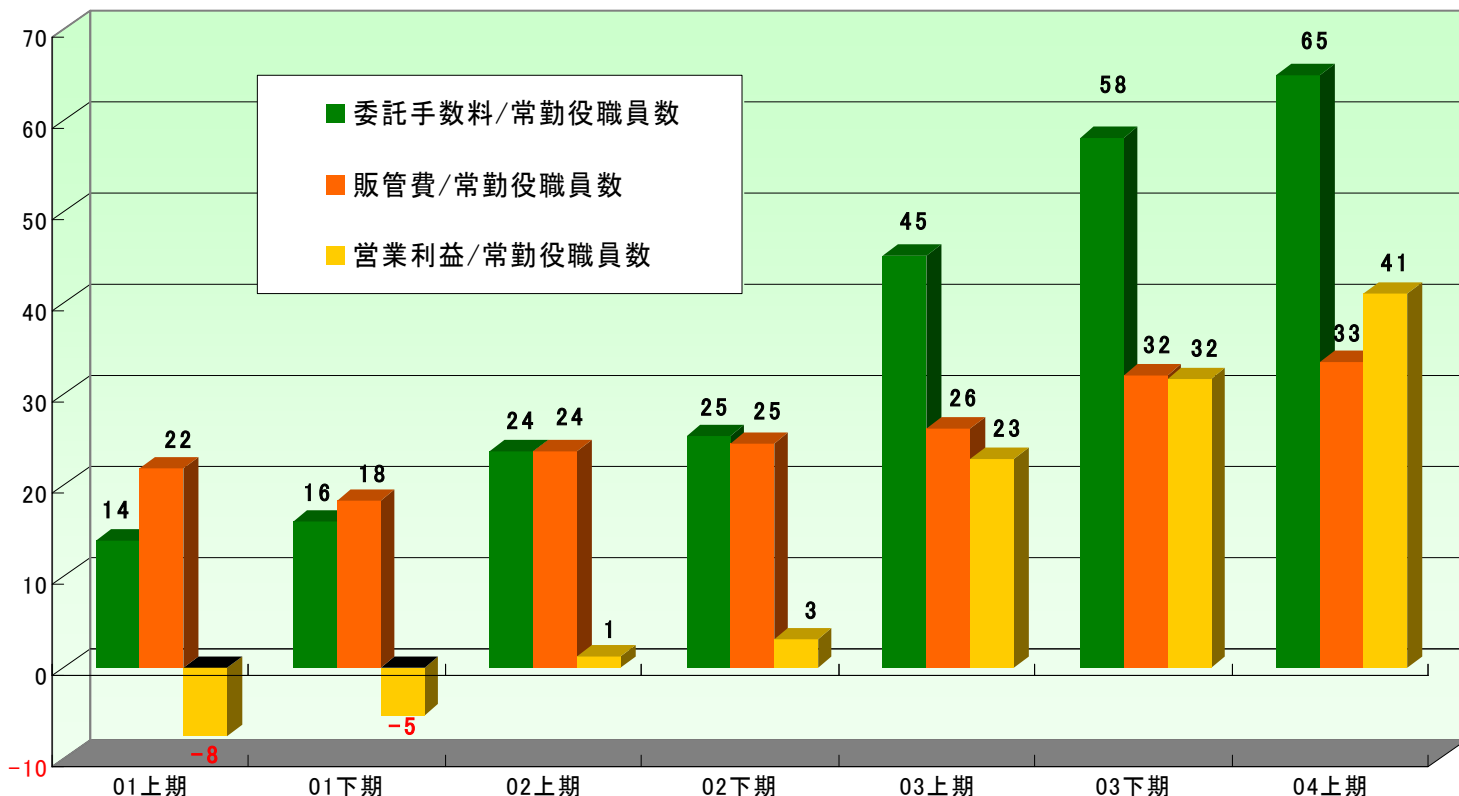
※コストカバー率は、委託手数料÷販管費にて算出

※各社ホームページ等公表資料より当社にて作成

# 常勤役職員1人あたりの経営数値

当中間期も高い経営効率を達成。1人あたりの委託手数料は約65百万円、営業利益は約41百万円と前半期比増加ながら、販管費は約33百万円と前半期比横ばい。

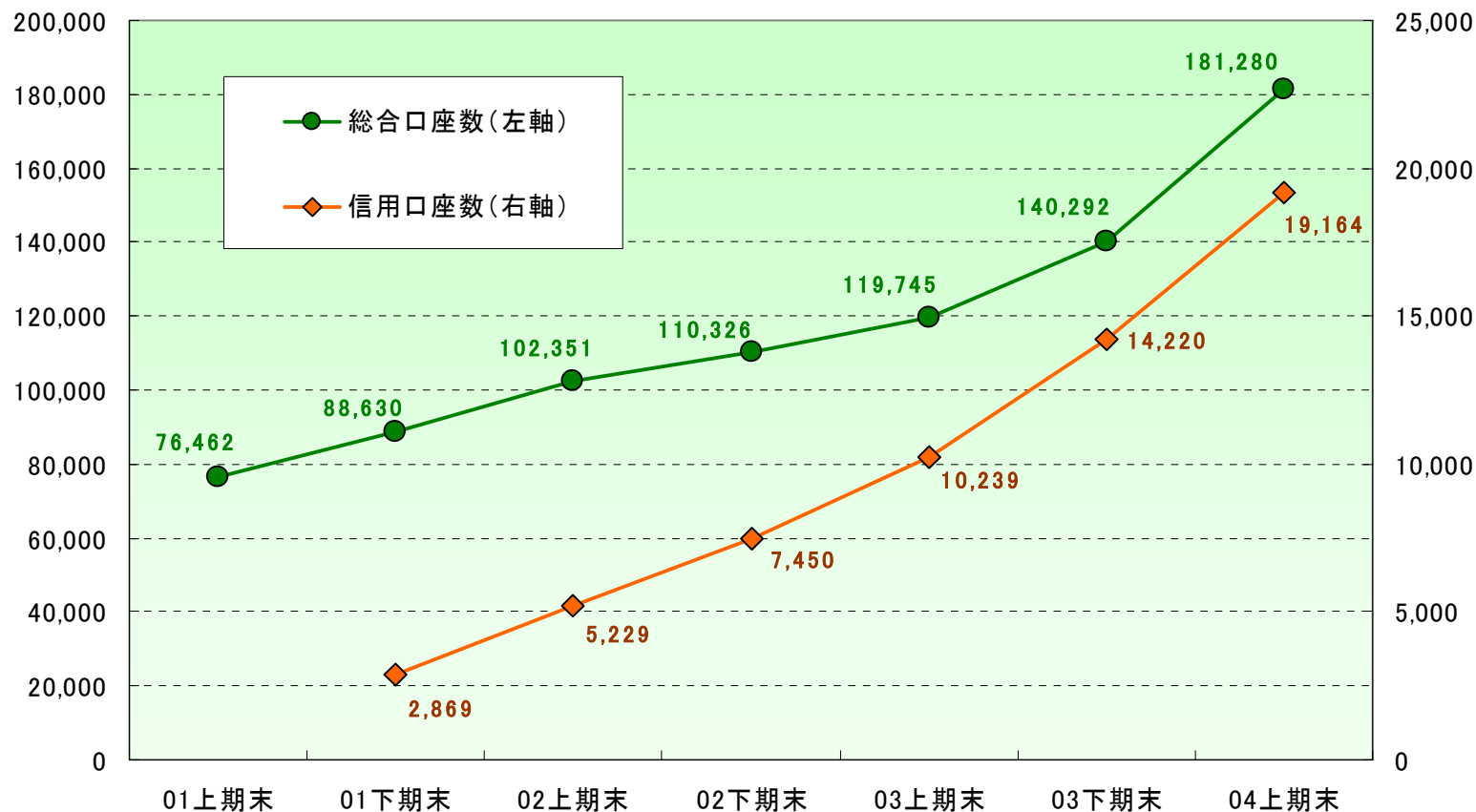
(百万円)



常勤役職員数 (派遣社員を含む)	57	54	46	45	49	51	63
---------------------	----	----	----	----	----	----	----

# (補助資料) 総合口座数と信用口座数

当中間期、総合口座数と信用口座数の増加数はペースアップ。



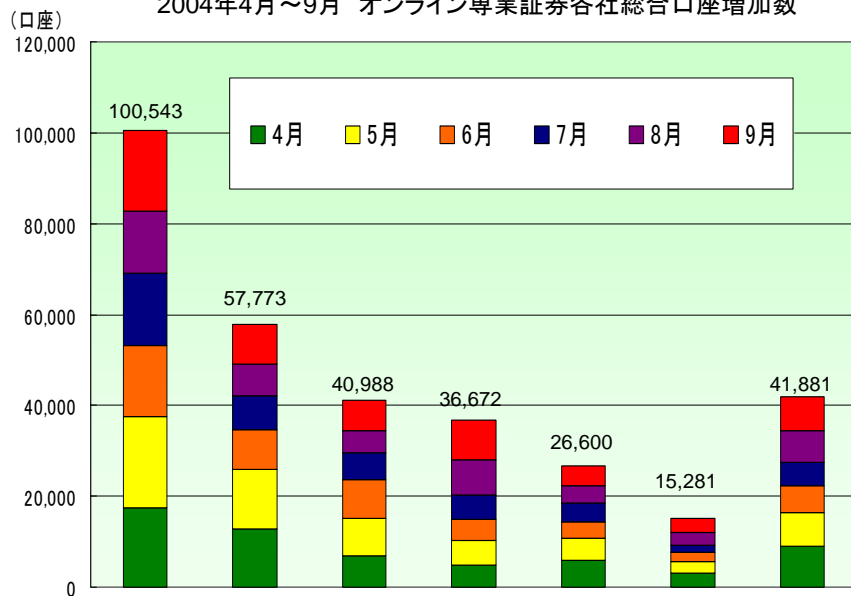
※ 総合口座数と信用口座数は、解約済口座数を除いた数

※ 信用取引は2002年2月22日からサービス開始

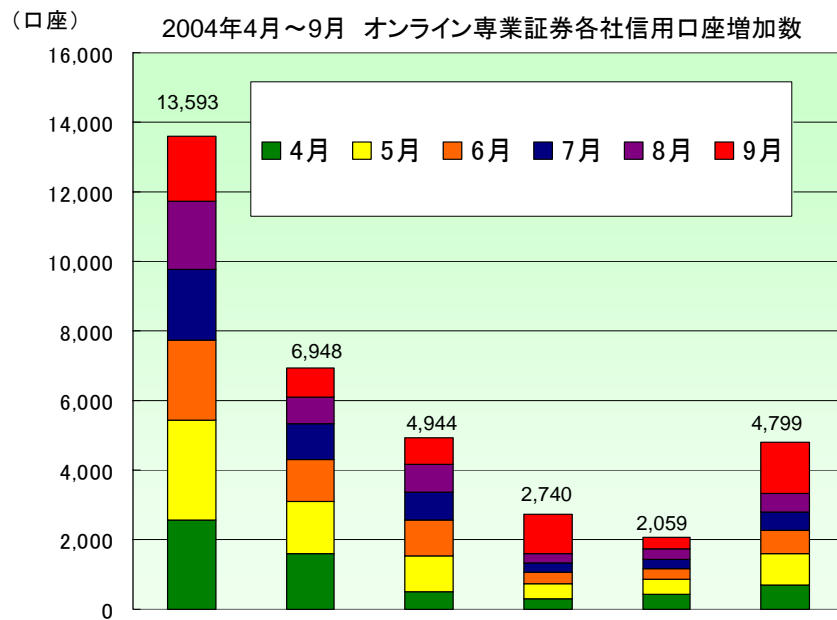
# (補助資料) 総合口座増加数と信用口座増加数

当中間期では、総合口座・信用口座ともにイー・トレード、松井に次ぐ増加数。

2004年4月～9月 オンライン専門証券各社総合口座増加数



2004年4月～9月 オンライン専門証券各社信用口座増加数



	イー・トレード	松井	カブドットコム	楽天	マネックス	日興ビーンズ	(参考) MBH
4月	17,387	12,792	6,813	4,783	5,875	3,028	8,903
5月	20,089	13,111	8,454	5,389	4,839	2,752	7,591
6月	15,624	8,672	8,282	4,635	3,728	2,027	5,755
7月	15,895	7,664	5,899	5,414	3,984	1,371	5,355
8月	13,811	6,959	4,926	7,840	3,937	2,969	6,906
9月	17,737	8,575	6,614	8,611	4,237	3,134	7,371

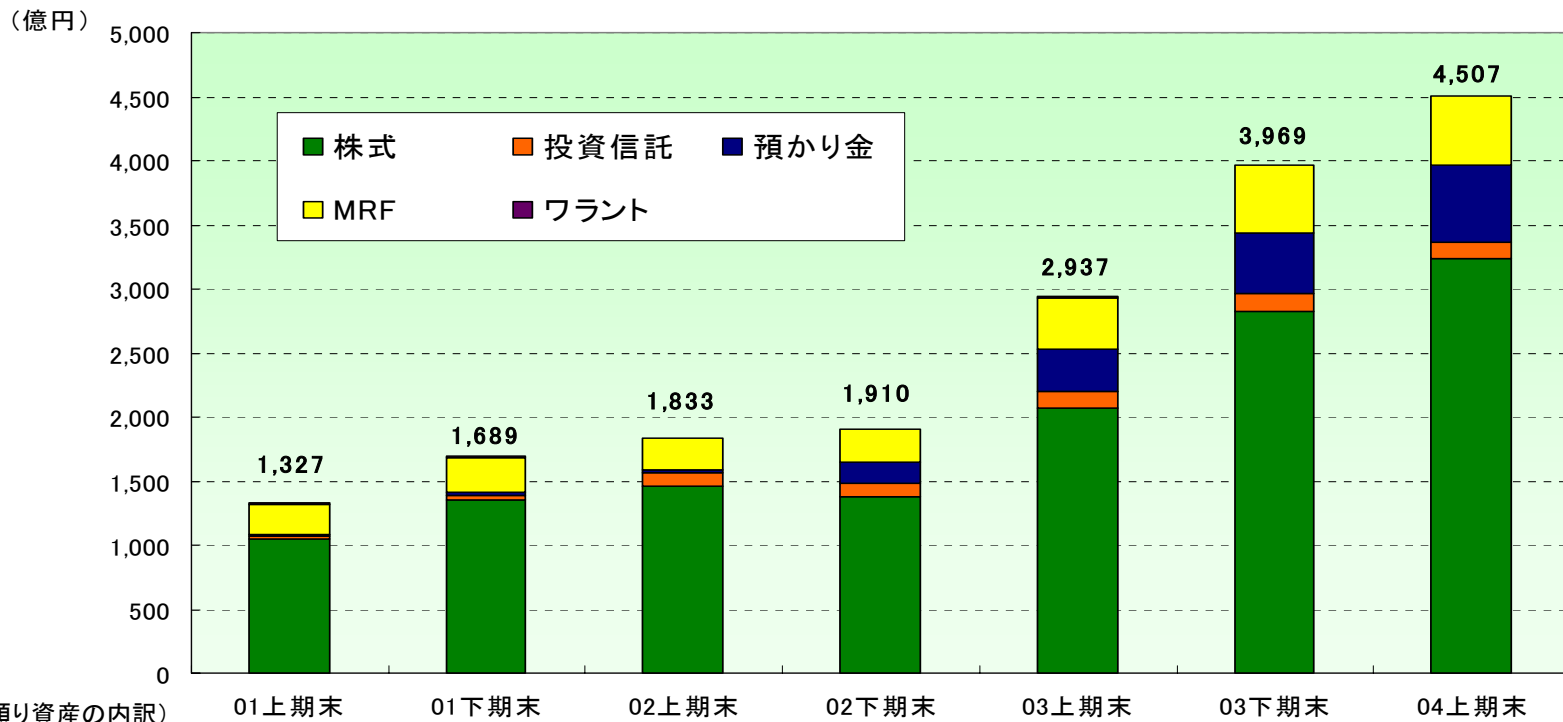
	イー・トレード	松井	カブドットコム	日興ビーンズ	マネックス	(参考) MBH
4月	2,566	1,587	516	286	425	711
5月	2,874	1,502	1,008	433	458	891
6月	2,297	1,200	1,043	359	295	654
7月	2,030	1,029	792	261	268	529
8月	1,972	766	822	259	273	532
9月	1,854	864	763	1,142	340	1,482

※1 各社ホームページ掲載資料より集計(楽天証券の信用口座数は非公開)

※2 MBH(マネックス・ビーンズ・ホールディングス)はマネックスと日興ビーンズの数単純合算(重複等加味せず)

# (補助資料) 預り資産推移

預り資産は半期ベースで着実に増加し、当中間期末の預り資産は4,500億円を超える。

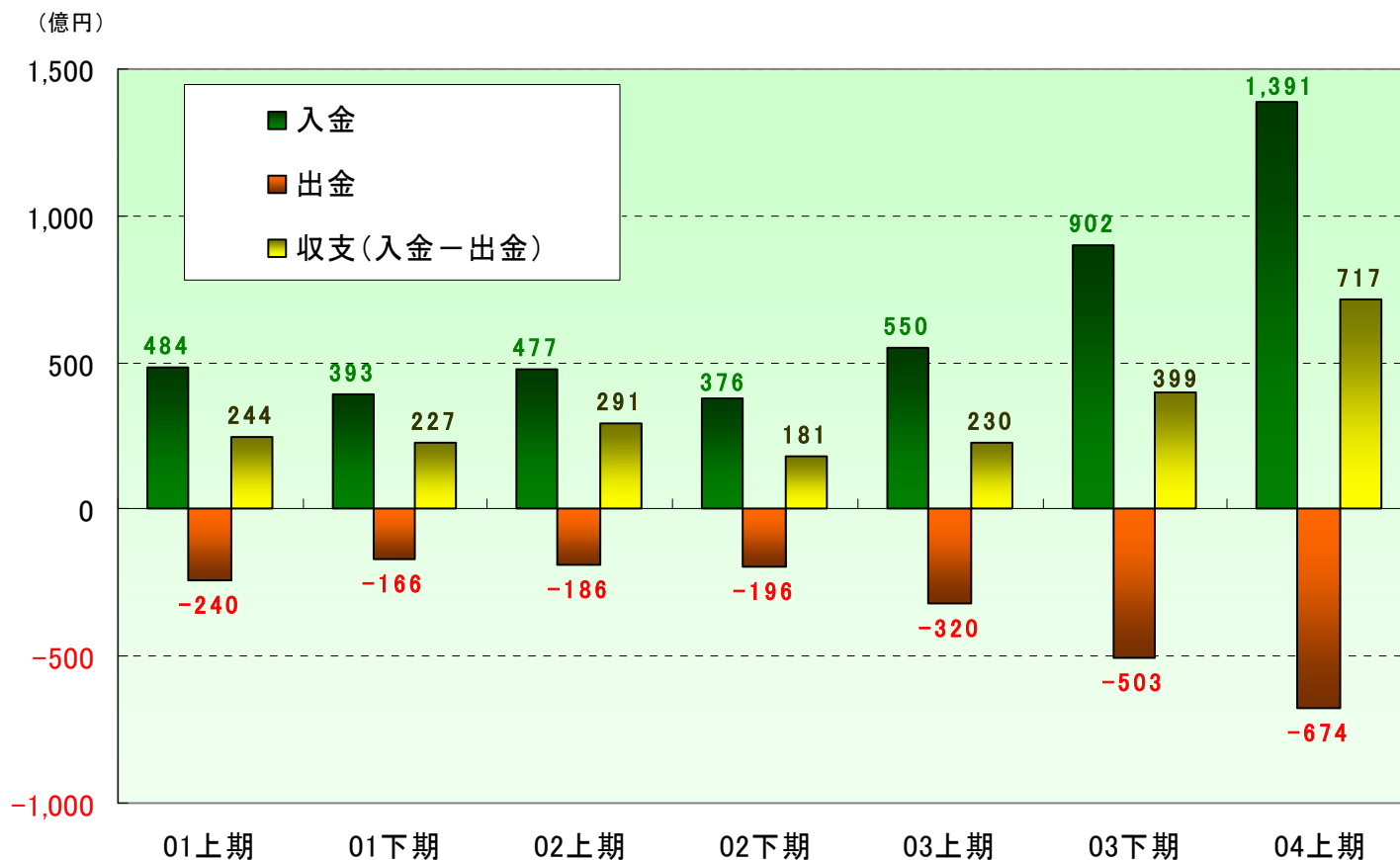


(預り資産の内訳)	01上期末	01下期末	02上期末	02下期末	03上期末	03下期末	04上期末
株式	1,050	1,359	1,462	1,377	2,074	2,825	3,232
投資信託	26	31	101	103	123	141	136
預かり金	2	21	30	173	333	472	595
MRF	245	275	238	255	404	529	543
ワラント	4	3	2	1	3	2	2

※預り資産は時価ベースにて算出

# (補助資料) 入出金額推移

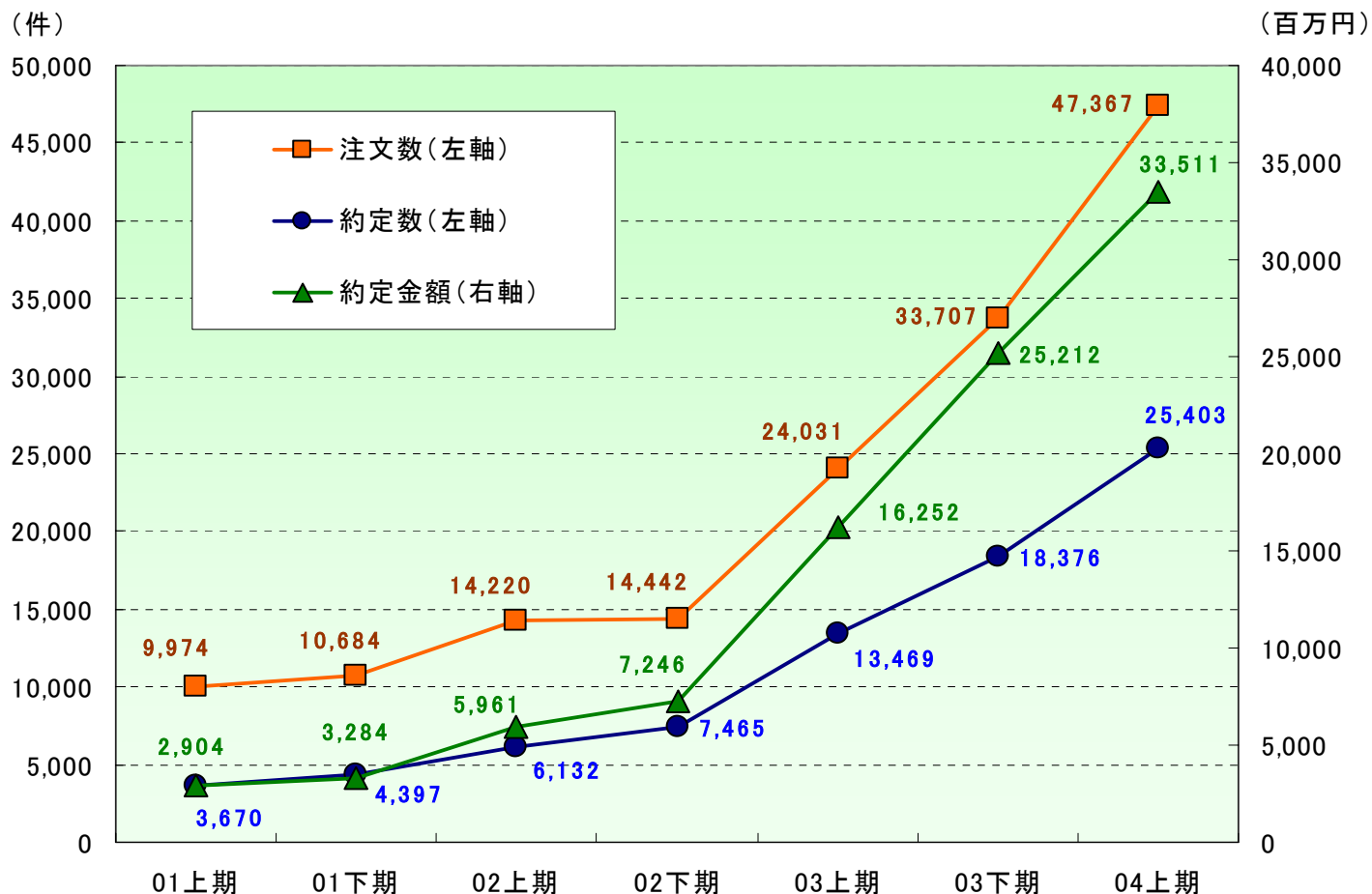
当中間期の入出金収支は717億円。前年同期比約2.5倍、前期比約2倍と順調に増加中。





# (補助資料) 1日あたり株式注文及び約定

注文数、約定数、約定金額はそれぞれ前期比約1.5倍、前年同期比約2倍に増加。



※約定数には内出来を含む。

# (補助資料) 株式差引入庫額一

株式差引入庫額は増加を続け、当中間期では230億を超えて前年同期比約2倍の実績に。特に大手証券3社からの差引入庫額は前年同期比約4倍にまで増加。

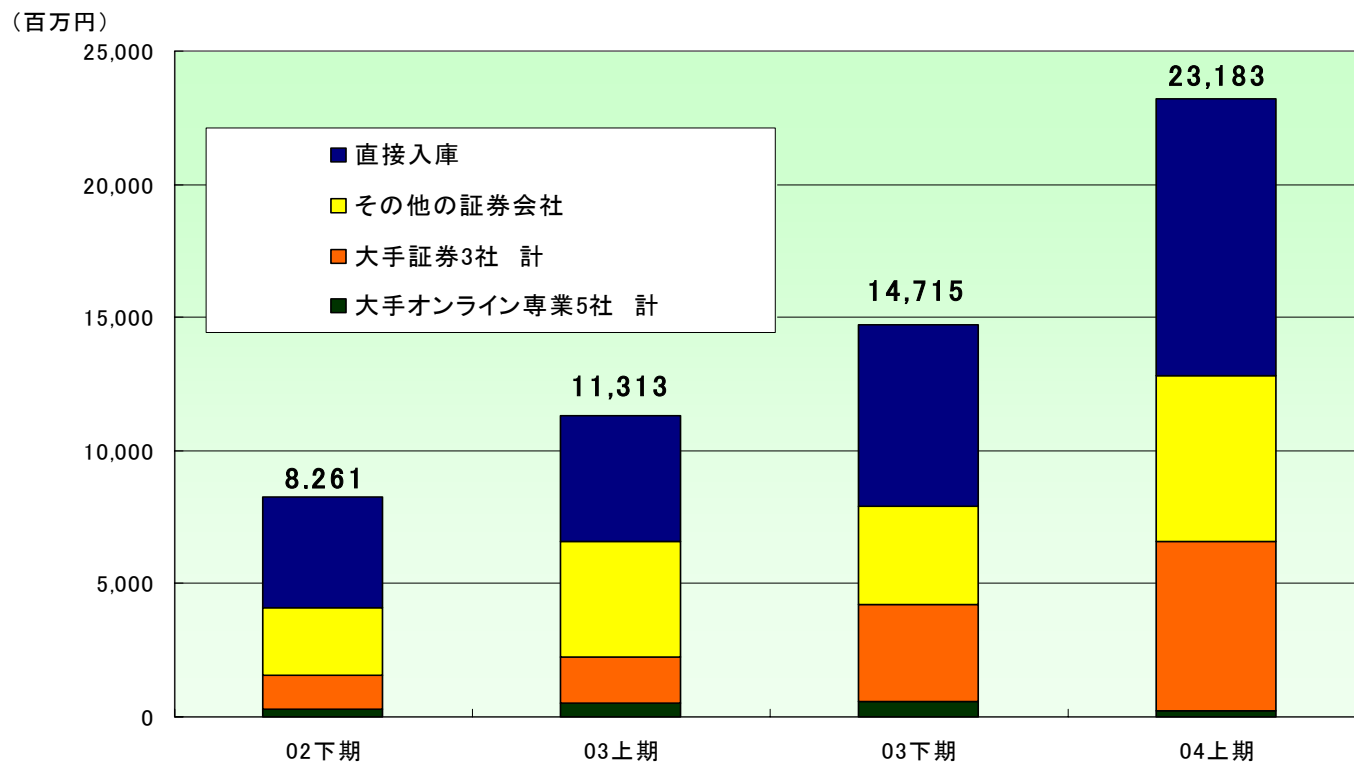
(単位:百万円)

	02下期	03上期	03下期	04上期
A証券	271	132	179	177
B証券	▲252	117	▲272	▲499
C証券	120	211	351	235
D証券	104	107	143	290
E証券	69	▲51	192	20
大手オンライン専業5社 計 ①	312	516	594	222
X証券	841	903	1,423	3,208
Y証券	▲49	508	1,419	2,076
Z証券	458	303	784	1,102
大手3社 計 ②	1,250	1,715	3,624	6,386
その他の証券会社 ③	2,521	4,347	3,673	6,234
振替差引入庫額 ①+②+③	4,083	6,579	7,892	12,842
直接入庫額 ④	4,178	4,735	6,823	10,342
合計 (①+②+③+④)	8,261	11,313	14,715	23,183

※ 株式差引入庫額は、(他社から当社への入庫額) - (当社から他社への出庫額) にて算出。

※ 入庫額・出庫額は、当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理日の時価にて換算。

# (補助資料) 株式差引入庫額-2

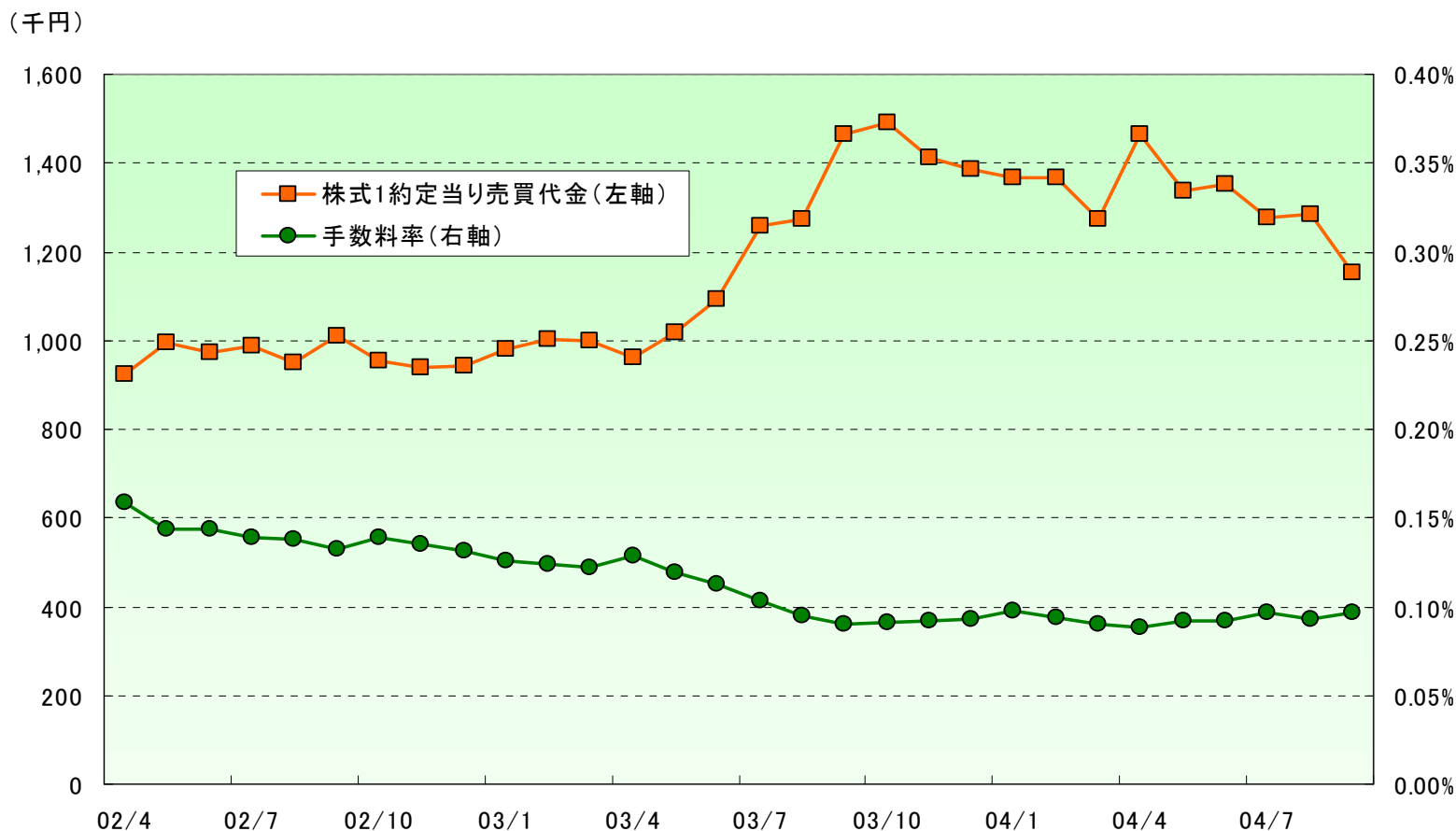


大手オンライン専業5社	312	516	594	222
大手3社	1,250	1,715	3,624	6,386
その他の証券会社	2,521	4,347	3,673	6,234
直接入庫	4,178	4,735	6,823	10,342

※ 当社入出庫管理データを使用し、当社入出庫処理日の時価にて換算。

# (補助資料) 手数料率と株式1約定あたり売買代金

手数料率は当中間期も0.1%未満に抑え、業界最低水準の手数料を提供。



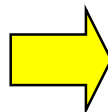
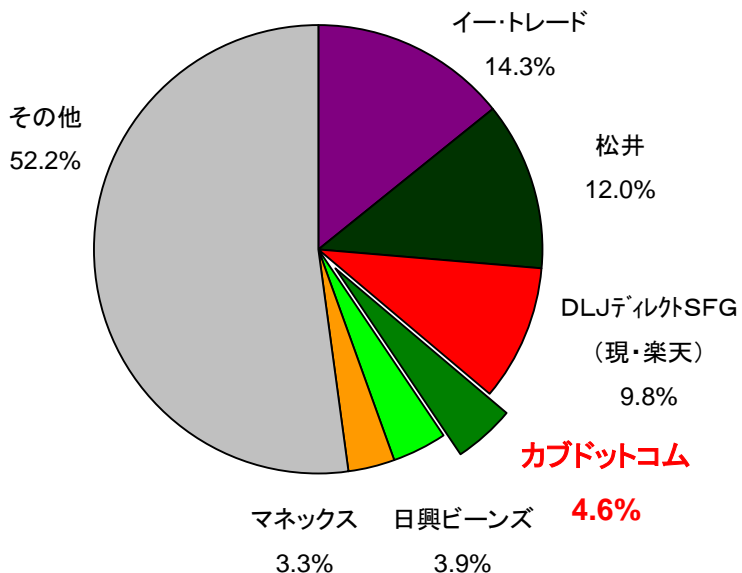
※手数料率は、株式委託手数料÷株式約定金額にて算出

# (補助資料) 株式シェアの推移

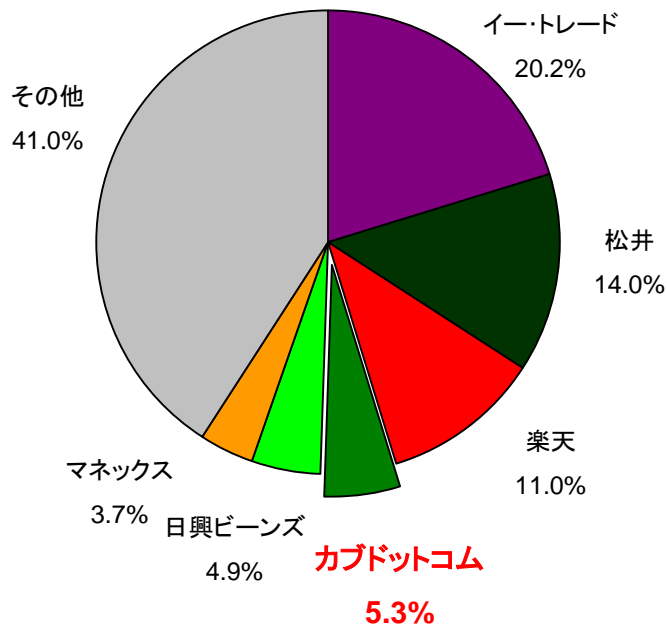
オンライン専門証券のシェア拡大に伴い、当社株式シェアも拡大。

3市場+ジャスダック市場(店頭)の個人委託金額に対するオンライン専門証券大手6社の約定金額の比率

平成16年3月期中間



平成17年3月期中間



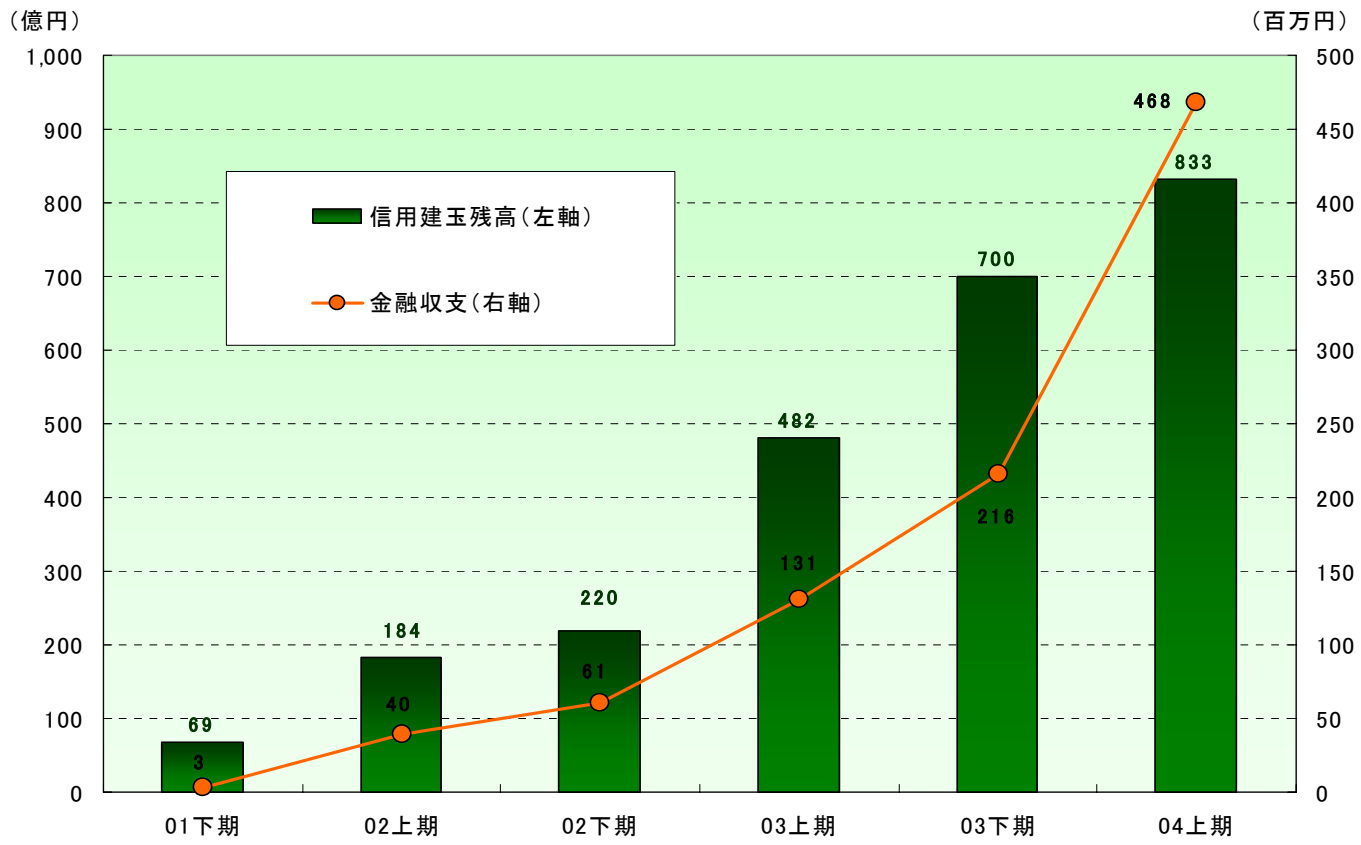
※東京証券取引所統計資料、ジャスダック統計資料、各社ホームページ公表資料より当社作成

※約定金額は、株式(現物+信用)のみの約定金額を使用

# (補助資料) 信用建玉残高と金融収支の推移

直結システム対応効果により当中間期の金融収支は大幅改善。

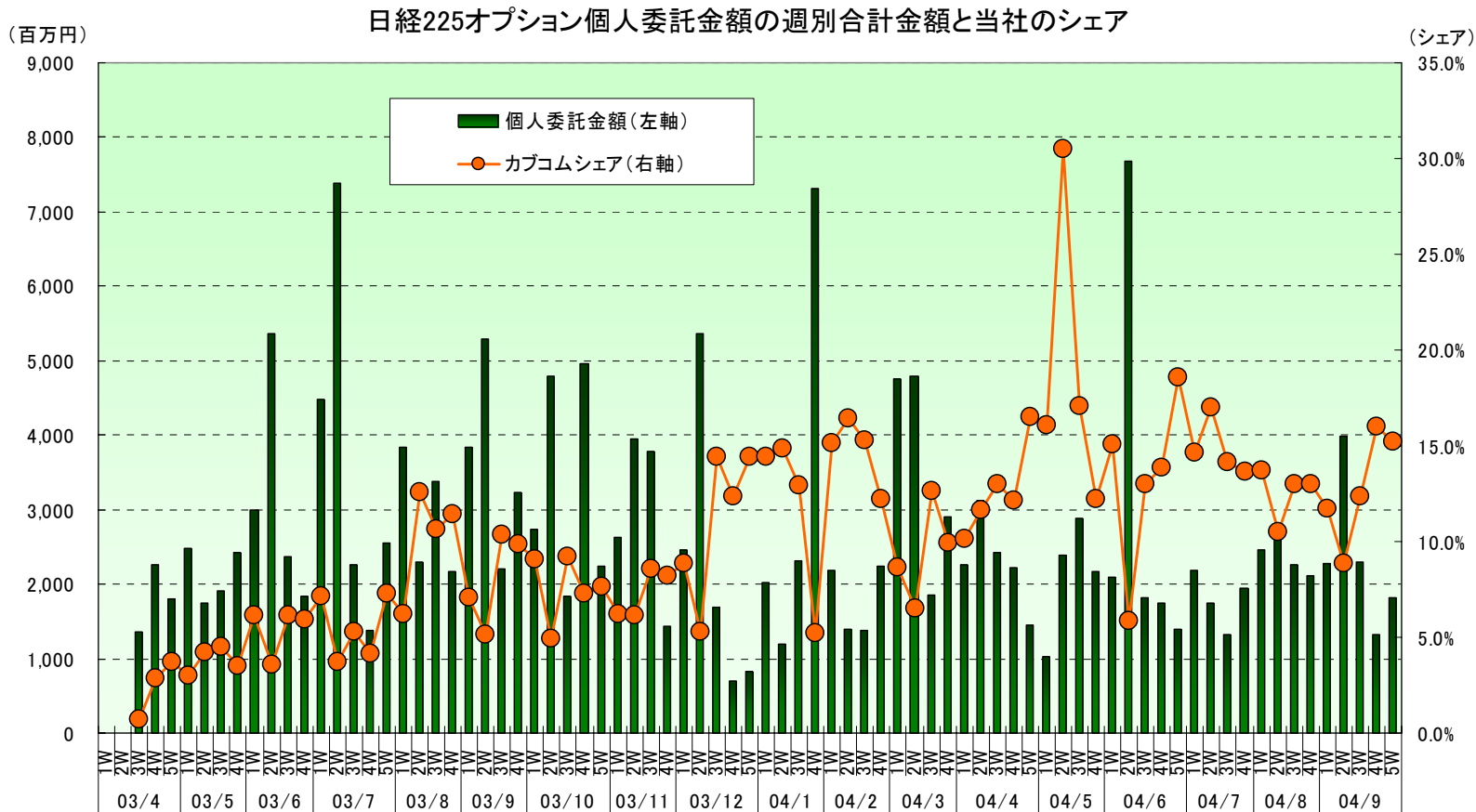
前年同期比で信用建玉は833億円と約1.7倍だが、金融収支は468百万円と約3.6倍に。



※信用建玉は各期末の受渡ベースの数値

# (補助資料)オプション取引シェアの推移

オプション取引の当中間期のシェアは10%を超える高いシェアであり、足元も増加中。



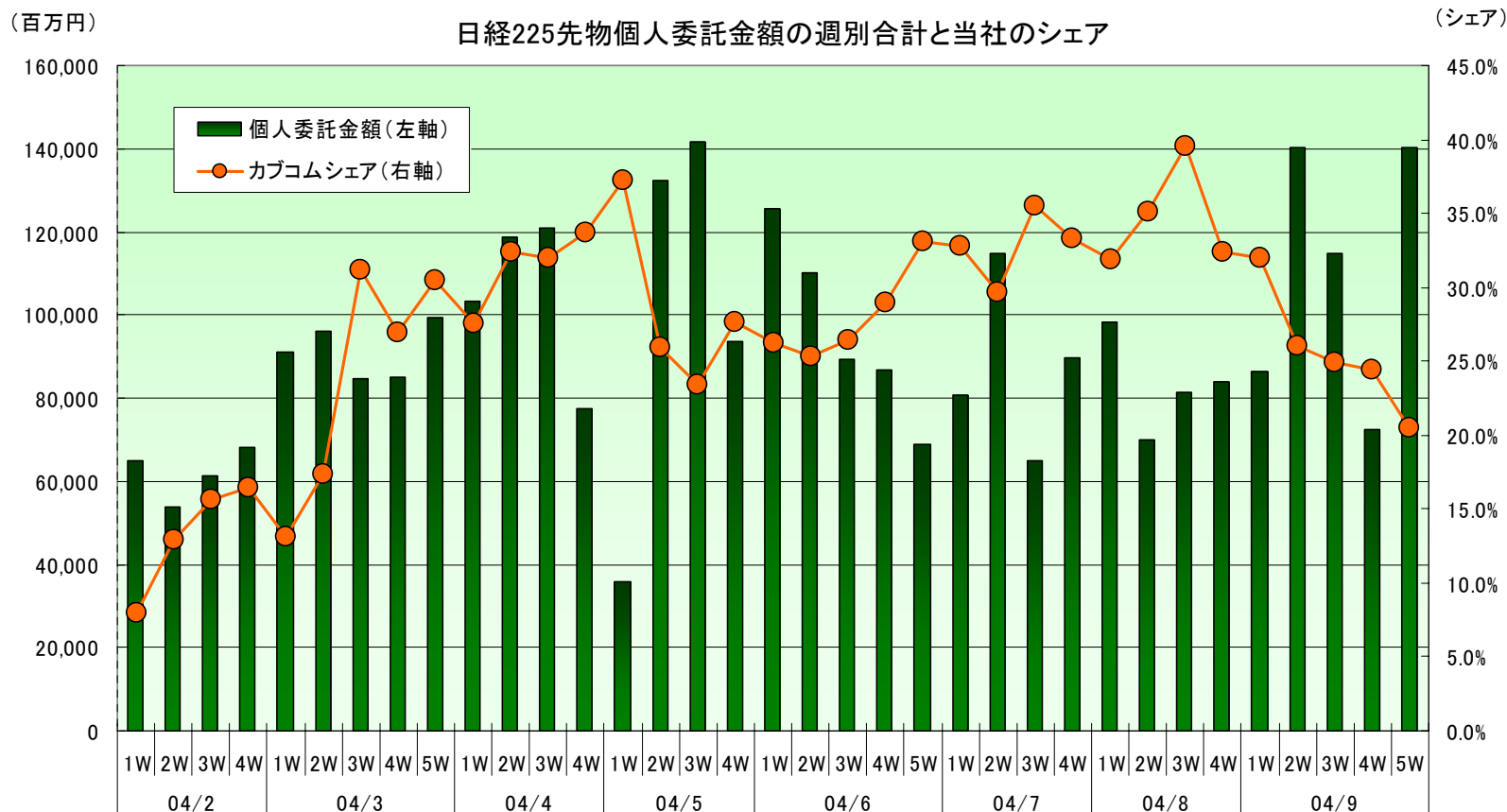
※1 大阪証券取引所公表数値より当社計算

※2 当社シェアは次の数式にて算出

$$\text{当社シェア} = \frac{\text{当社約定金額}}{\text{個人委託約定金額(資本金30億円以上の取引参加者)} + \text{当社約定金額}}$$

# (補助資料) 先物取引シェアの推移

先物取引のシェアは当中間期も20%を超え、新たな収益源になりつつある。



※1 大阪証券取引所公表数値より当社計算

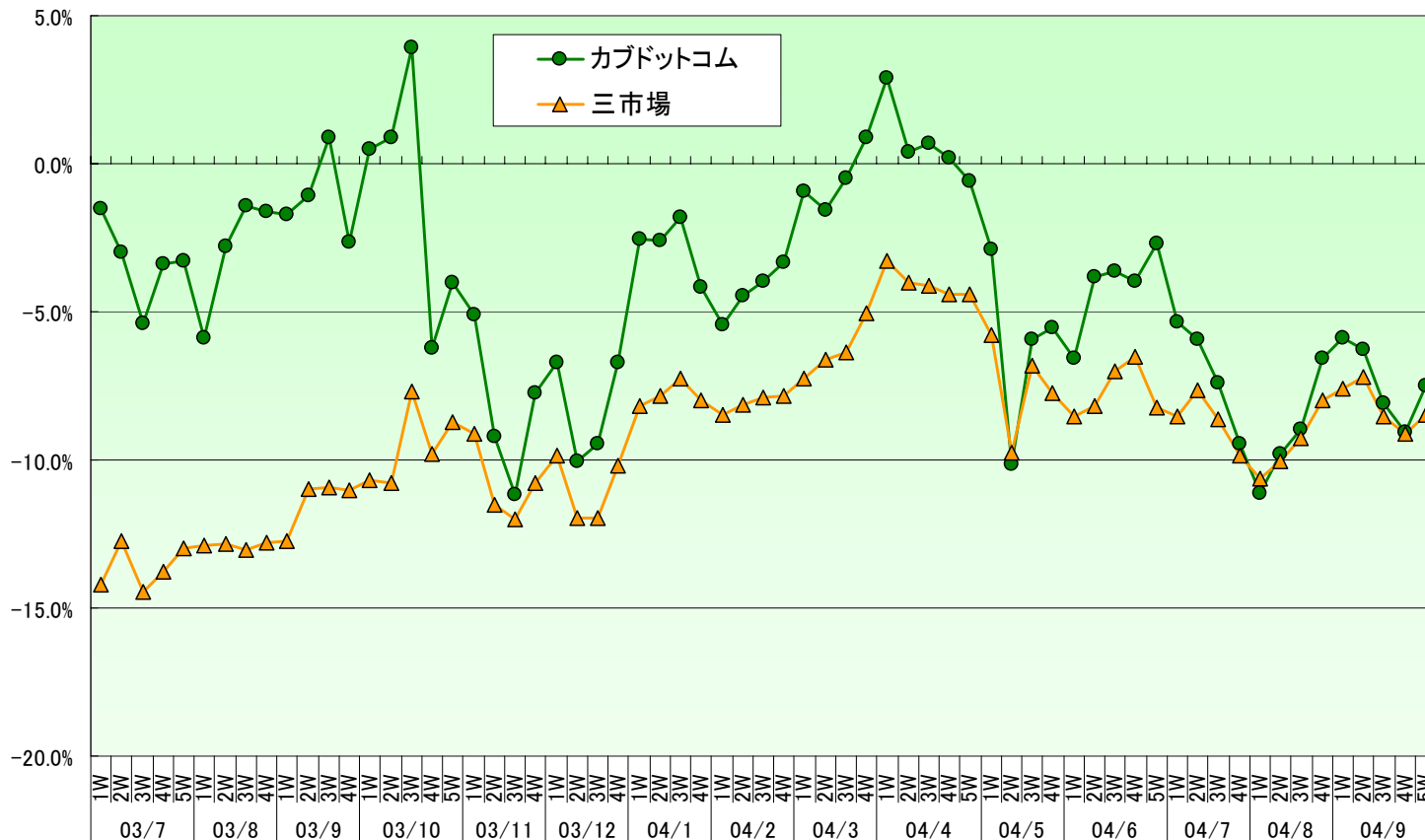
※2 当社シェアは次の数式にて算出

$$\text{当社シェア} = \frac{\text{当社約定金額}}{\text{個人委託約定金額(資本金30億円以上の取引参加者)} + \text{当社約定金額}}$$



# (補助資料)信用取引評価損益率

当社顧客の信用取引の成績は三市場平均をほぼ上回る。



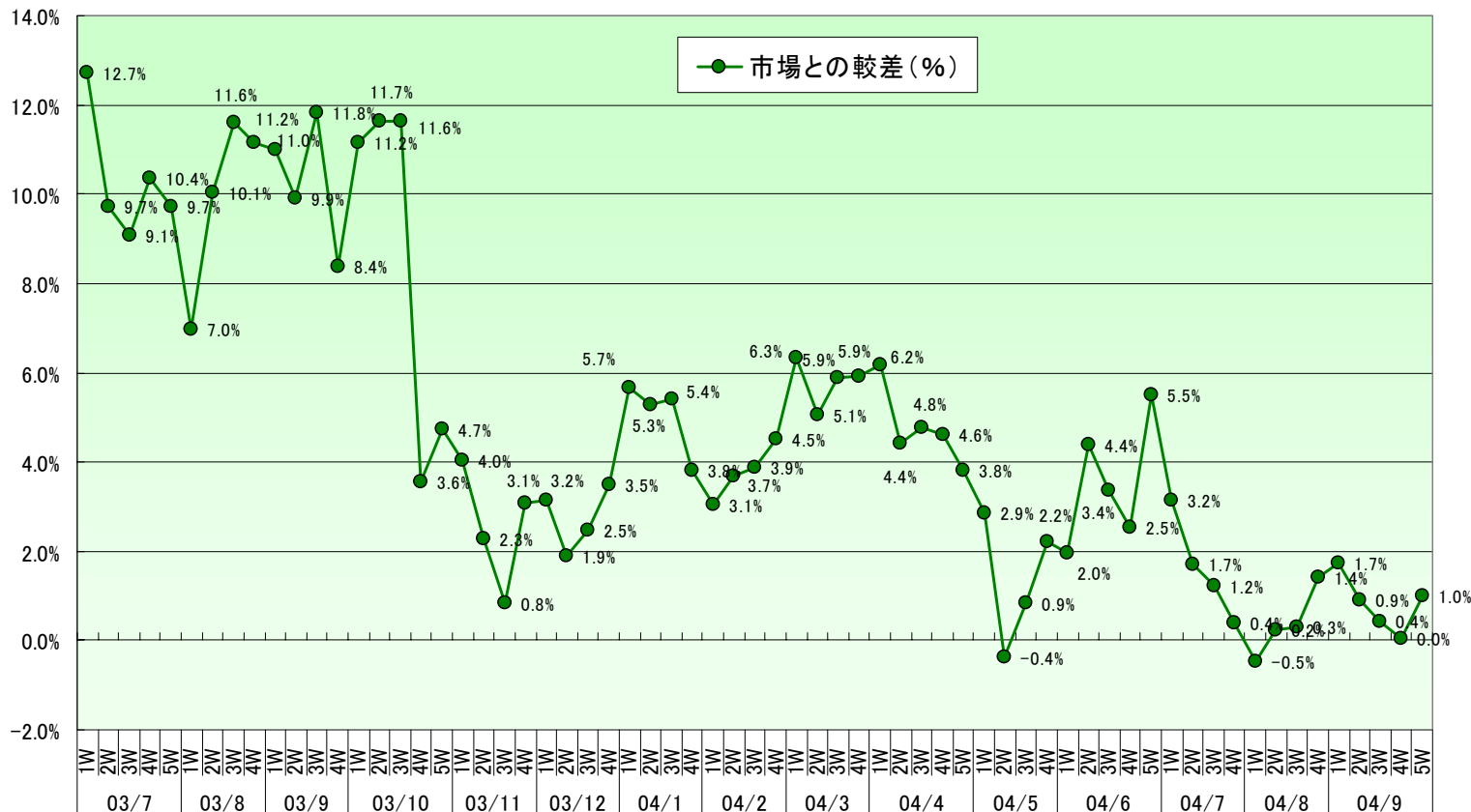
※1 東京証券取引所公表数値より当社計算

※2 三市場、当社ともに信用取引評価損益率は以下の数式にて算出

$$\text{評価損益率} = \text{評価損益} \div \text{信用建玉残高(売買合計)}$$

※3 グラフは、三市場、当社ともに各週末の信用取引評価損益率を表したもの

# (補助資料) 信用取引評価損益率(較差)

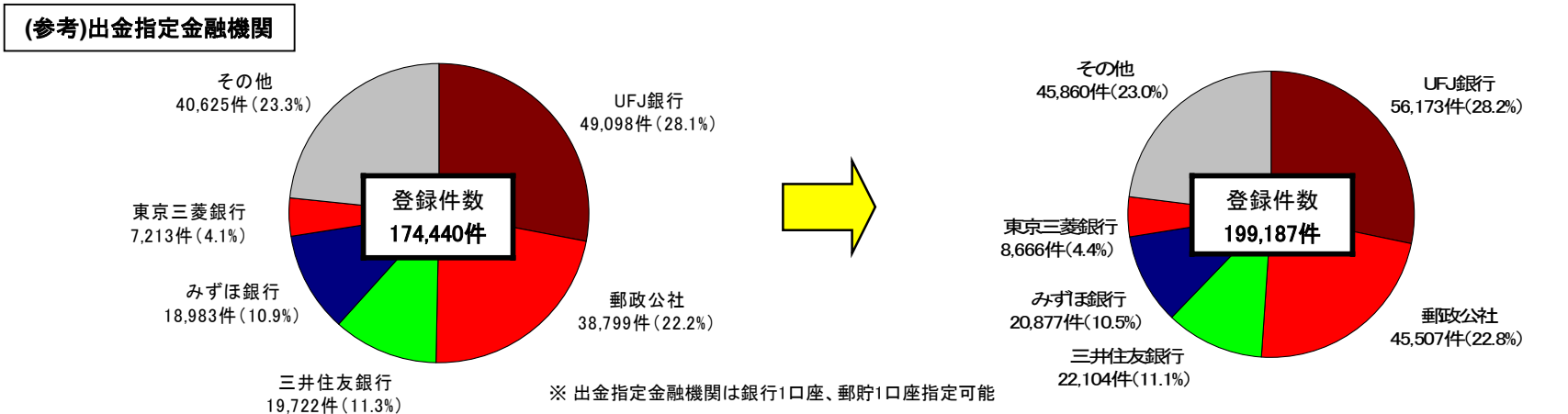
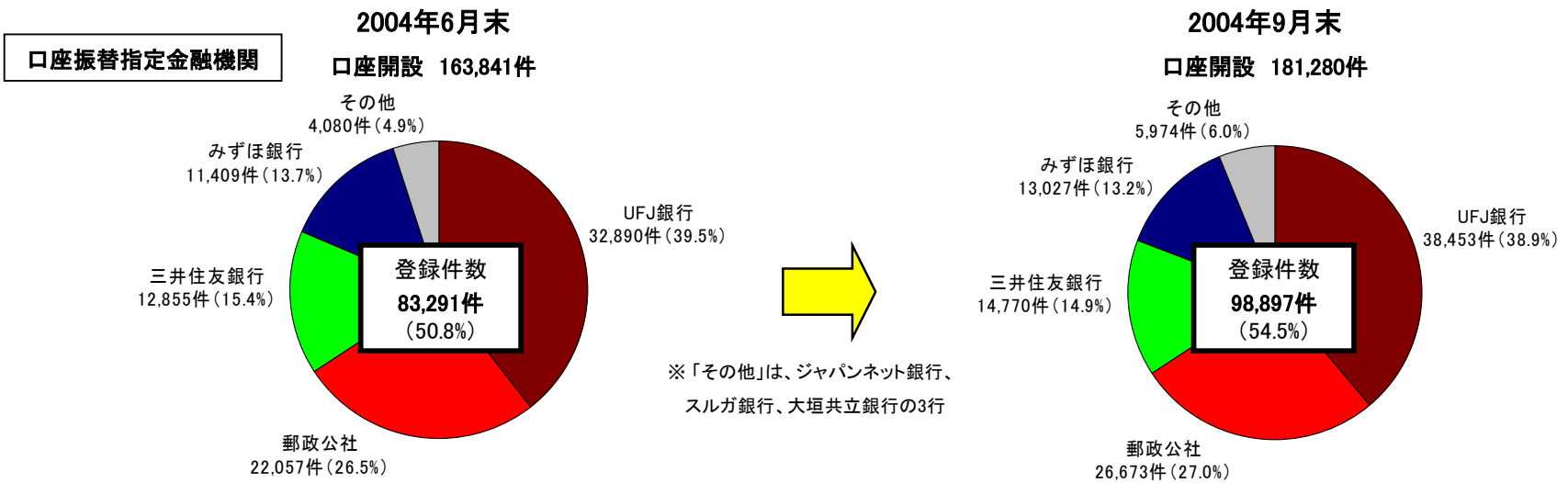


※1 東京証券取引所公表数値より当社計算

※2 グラフは三市場平均とカブドットコム証券との信用取引評価損益率の較差を表したものの

# (補助資料)口座振替(自動引落)登録件数

口座開設件数に占める口座振替(自動引落)登録件数の割合は前四半期末比3.7%増加。



## Ⅱ その他開示等

# 当中間期の取り組み

当社はより品質の高いサービス提供を目指し、お客様への様々な新しい投資スタイルの提案を行っております。

	新サービス	機能拡充	取得・受賞・その他
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>現物株式新手数料体系の一部変更 (約定代金20万円以下は500円～、約定代金1万円以下は無料に)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CTIサーバー増強 (オペレータ回線約2倍)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡で「株スクール」開催</li> <li>東京で「株スクール for ビギナー」開催</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>株価指数オプション取引の手数料を業界最低水準に値下げ (約定代金の0.84%→0.63% 最低630円に)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信用取引口座開設WEB自動審査開始</li> <li>取引新システム導入完了 (3倍強パフォーマンスと発注経路二重化等)</li> <li>預り資産状況推移画面を追加 (1ヶ月間の資産の日々推移、預り資産目標達成通知サービス等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ISMS適合性評価制度 (Ver.2.0)」と「BS7799-2:2002」の認証を同時取得</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡証券取引所単独上場銘柄の取り扱い開始</li> <li>リスク管理追求型「一般信用取引」取り扱い開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動売買機能の強化として、制限値幅自動値段調整機能を追加</li> <li>kabuマシーン™ 専用アプリケーションサーバーを増設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会等設置会社へ移行</li> <li>金融業界初、知的財産報告書を公表</li> <li>Gomez Japan 2004年夏期オンライン証券ランキング2位</li> <li>リックテレコム コンタクトセンターアワード2004 銅賞 受賞</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望のIR情報を自動的かつタイムリーにメール配信する「IR情報配信サービス」開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京三菱銀行との入出金手数料を無料化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>UFJカード提携/申込者に手数料の一部を電子マネーに還元する「kabu.comカード」提供開始</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社制作の投資情報サービスの開始。第一弾は「kabu.com投資情報局」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京三菱投信ファンドを販売手数料無料で取扱開始</li> <li>郵便局「WEB連動振替決済サービス」開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「kabu.studio™ (カブスタジオ)」コンテンツ拡充</li> <li>『実践 eフロント入門』、『らくらくブックビルディング』編』</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1株から取引できる究極の少額株式取引「プチ株® (単元未満株)」サービス開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスク管理追求型「法人口座」の取扱開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松井証券、イー・トレード証券、当社、楽天証券の4社で「ネット証券評議会」設立。4社で「個人投資家セミナー」開催</li> <li>NTTユーザ協会 第43回 電話対応コンクール東京中央区大会(個人戦)「最優秀賞」受賞</li> <li>当社公式本第二弾「株の短期売買でサクサク儲ける方法」発売</li> </ul>

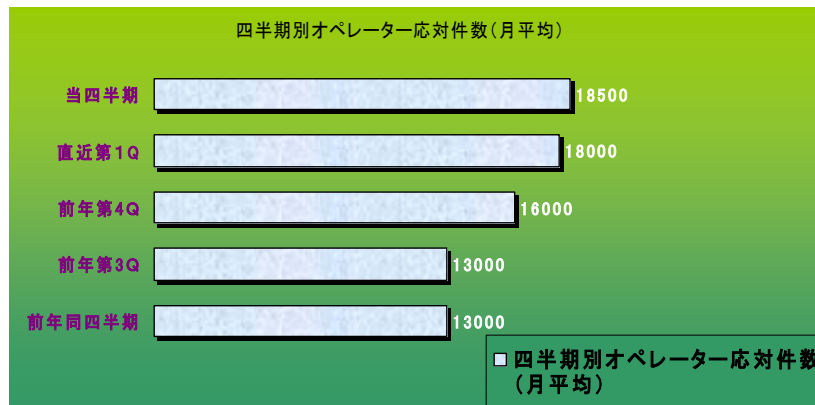
# サポートセンター関連の開示

## お客様サポートセンター入電対応状況 (前年同四半期～当四半期)

以下の3つの主要因にてオペレーター対応件数を効率よく増加

- ①信用取引、先物・オプション取引口座開設電話面接をWEB自動審査へ移行
- ②オペレーター人員増強・対応品質教育強化
- ③CTI増強 オペレーター回線を従来比2倍に

◆前年同四半期比約1.4倍(約5500件増)となった。



## (TOPICS)お客様サポートセンター表彰

6/27 「コンタクトセンター・アワード2004・Center of Excellence/マネージメント部門 銅賞」受賞



(株)リックテレコムが主催する、平成16年度第1回「コンタクトセンター・アワード2004」のマネージメント部門において「銅賞」を、受賞しました。同部門の受賞は証券業界では唯一の受賞となります。

「マネージメント部門」受賞会社  
 「金賞」 オムロンフィールドエンジニアリング  
 「銀賞」 損保ジャパン・ホットライン  
 「銅賞」 カブドットコム証券

・主な参加企業(50音順)  
 あいおい損害保険(株) アイフル(株) ANAテレマート(株)  
 アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc  
 (株)オーエムシーカード グラクソ・スミスクライン(株)  
 ケーブルアンドワイヤレスIDC(株) (株)コスモスライフ  
 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) トレンドマイクロ(株)  
 (株)バッファロー (株)ファンケル 日本アイ・ビー・エム(株)  
 日本航空(株) 松井証券(株) 三井住友カード(株)

9/15 第43回「電話対応(CTI)コンクール東京都中央地区大会 最優秀賞(優勝)」受賞



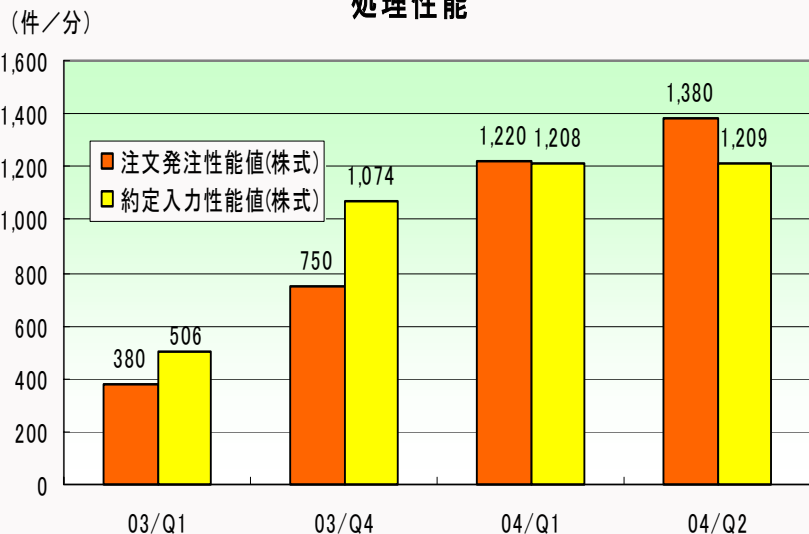
財団法人)日本電話電話ユーザー協会が主催する、第43回「電話対応コンクール 東京都中央地区大会(個人戦)」において最優秀賞受賞(優勝)、優秀賞、優良賞の各賞を受賞しました。優秀賞は3年連続、優良賞は2年連続受賞です。

# システム関連の開示－1

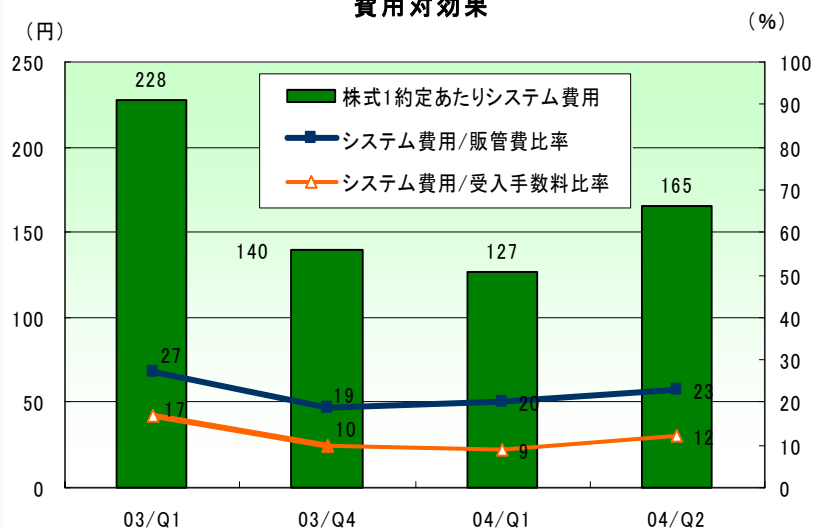
## システムの処理性能及び費用対効果の実績について

2003年12月～2004年5月までに実施した大規模システム設備増強及び2004年6月からのサーバー追加・接続回線増強等により、処理性能は前年第1四半期比で約4倍となった。一方費用対効果について、自社内でのシステム構築のため、システム費用が営業収益増加よりも低い水準で増加しており、約定数が多いほど優位に立つ状況になっている。

処理性能



費用対効果



## システム関連の開示－2

### 当中間期の主な設備増強対策(2004年4月～9月)

日付	増強内容
2004/04/01	CTIサーバー全面リプレイス(オペレータ回線を2倍へ増強)
2004/05/15	注文データベース増強(CPU数を2倍に、4倍のキャパシティ確保)
2004/05/16	株式発注システムを冗長構成化 (取引所直結システムと他証券会社経由の発注取次証券システムとの二重化構成)
2004/05/29	バックオフィスサーバー増強(CPU数を2倍に増強)
2004/06/28	kabuマシン™用サーバー(Web/アプリケーション)を専用ハードウェアで再構築
2004/08/06	iモード用専用回線の増強(最大帯域1.5Mbpsを6Mbpsへ4倍に増強)
2004/08/10	時価情報管理サーバーの増強(CPUクロック比で3.7倍、ピーク負荷を50%改善)
2004/08/23	株式発注システム増強(取引所直結システムの拡充)
2004/09/16	取引用アプリケーションサーバー増強(処理能力を1.3倍に増強)
2004/09/25	顧客向けインターネット接続回線の増強(100Mbps × 2回線を1Gbps × 2回線へ増強)



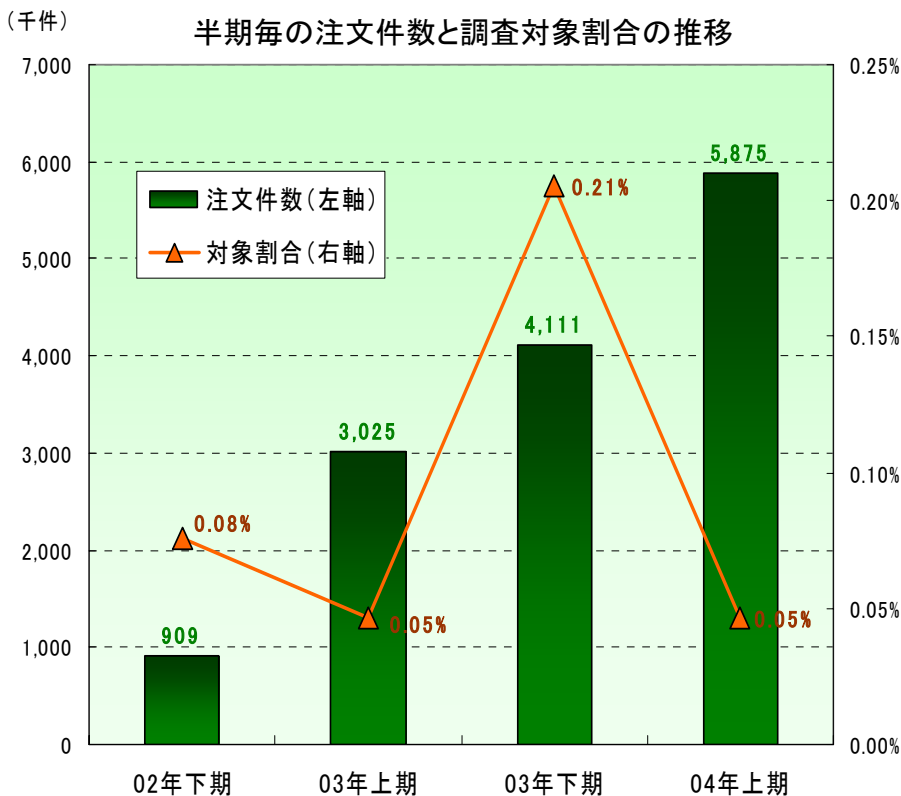
# システム関連の開示－3

## 当中間期の主なシステム不備とその対策(2004年4月～9月)

日付	システム不備内容	
2004/5/18	9:00～9:30一部の株式注文について約定処理エラーが発生し、約定反映が遅延(11:30復旧)	
	原因	一部のアプリサーバーの注文約定入力プログラム不備
	詳細	新規に構築した銘柄規制システムと約定システムとの連携において、想定よりも多い銘柄数が登録され、プログラム上の想定していた領域を超え、プログラムが異常終了した。またリカバリツールの処理に時間がかかった影響で、後続の約定入力が約定プログラムの再起動待ちの状態となり、大幅な約定遅延につながった。自動精査システムでの結果を元に精査した結果、112件の受注分について値合金処理等が必要になった。
	対策	約定プログラムのメモリ割り当て方式を見直し当日中にプログラム修正対処した。
	抜本的対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害リカバリツールを改良しリカバリ処理速度を高速化(従来比約10倍)。</li> <li>・同エラー発生を想定しリカバリツールについて負荷/ラッシュテストを実施。</li> </ul>
2004/8/9	14:25～14:45の間SSL40ビット/128ビット、kabuマシン、Mobile/EZWebで取引ページへのアクセス不能が発生	
	原因	2台のFirewall機器のうち、1台に障害が発生
	詳細	大手町、有明で2重化されているインターネット回線において、有明側回線のFirewall機器の故障によるもの。当該Firewall機器を切り離し、データ送受信を大手町経由のみで行うようにすることで復旧させた。障害の約20分間、電話対応およびモード等の迂回ルートにて受注を行った。
	対策	同日、有明側に接続されているSSL40ビットのWebサーバーを大手町側ネットワークへ移行し、今回の障害が再発した場合であってもSSL128ビット、SSL40ビットの何れかへの接続が可能となるよう対策を実施した。
	抜本的対策	回線を100Mbps(2回線)から1Gbps(2回線)に変更。またFirewall製品をより高性能/実績のある製品にリプレースを行う事で、相乗効果により、安定度を向上させた。
2004/9/27	9:00～9:46頃までの間、株式(現物・信用)、先物・オプションの新規注文のうち一部の注文(491件)について、処理遅延が発生	
	原因	一部アプリサーバーでシステムが認識している情報との不整合が発生
	詳細	7:30頃よりアプリサーバーでプログラムの起動処理においてシステムが認識している情報との不整合が発生し、17台あるアプリサーバーのうち5台、および、12台ある取引所接続サーバーのうち4台の処理経路による組み合わせにおいて、エラーが発生した。これが原因で、9/27(月)に発注した株式35,944件の注文のうち362件について、先物・オプション1,700件の注文のうち129件について、正しく取引所への発注が行えなかった。
	対策	9/27(月)の引け後16:00～21:00までに、全アプリサーバーのプログラム登録状況を改めて目視で確認し、全てのアプリサーバーにおいて正常登録されている事の確認を実施した。
	抜本的対策	自動スクリプトによるプログラムの本番環境更新環境を新たに作成、チェック機構をより強化した。

# SLA(サービス品質保証制度)関連の開示

システム増強等により、当中間期は安定したサービス提供を実現。



- ・調査対象割合は前半期比約4分の1にまで減少。
- ・前年同期比注文件数は約2倍に増加も、調査対象割合は同水準。

## カブドットコム証券のSLA

株式注文の取引所等への取次ぎ時間が5分を超えて遅延しないことを保証します。  
万一、遅延した場合は差額を返却致します。

※調査対象割合: 全注文件数に対し、注文精査システムにて調査対象とし精査を行った件数の割合

# 知的財産関連の開示

「リスク管理追求型取引™」サービスの開発とコーポレートブランドの育成を目指します。

当中間期(2004年4月～9月)の活動内容

平成17年 3月期中間	4月	「kabu.studio®」(カブスタジオ)商標登録(登録商標第4760981号)
	4月	カブマシーン®関連特許出願
	6月	SLA関連特許出願
	6月	『知的財産報告書』※1公開(金融業界で初)
	7月	ワンショット手数料 商標登録出願(商願2004-61941)
	7月	ワンウェイ手数料 商標登録出願(商願2004-61942)
	7月	±指値® 商標登録(登録商標第4785011号)
	7月	自動値幅制限機能関連特許公開(特開2004-192660)
	7月	バスケット注文機能関連特許公開(特開2004-213546)
	8月	プチ株® 商標権授受
	9月	証券仲介業関連特許出願

2004年9月末までに、出願公開特許9件(オンライン証券最多)、商標登録16件の実績

※1『知的財産報告書』

企業が自社の有する技術やブランドなどの知的財産に関する情報を開示する報告書。当社は、年1回ホームページ上にて公開致します。  
また、経済産業省の指針に準拠した形式で作成しております。

# 個人投資家啓蒙活動

当社は当中間期も引き続き、多角的な投資啓蒙を継続して行っております。

## kabu.com公式書籍発売

第一弾  
『株の自動売買で  
ラクラク儲ける方法』

第二弾  
『株の短期売買で  
サクサク儲ける方法』

ダイヤモンド社



2004年1月発売  
約18万部を発行  
\*発行部数は10月現在

2004年9月30日発売  
約9万部を発行

## kabu.com投資情報局

当社マーケットアナリストが取引時間中に随時オリジナル投資情報を配信する「kabu.com投資情報局」をネット証券で初めて、会員ページ内にて無料で提供。携帯・モバイルにも対応

投資情報名	配信タイミング	内容サマリー
kabuレター	寄付前	前日&海外市場を受けて、これだけは抑えておきたい当日の相場の考え方や投資戦略のヒント、着眼点・重要材料等をコンパクトに発信
マーケット最前線	取引時間を中心に随時	5%ルール報告や景気指標をはじめ、ニュースや材料を読み解き随時発信。マーケット情報を中心に、物色テーマ解説、個別銘柄情報、テクニカル情報、新興市場・IPO関連など多彩に。デイトレ・ワンポイント、引け後メモなども
業績サプライズ	大引け後夕方	決算情報・業績修正などからサプライズ情報をコンパクトに配信

## 主な啓蒙活動

開催	分類	内容	参加数
4月	セミナー	第23回 株スクール in 福岡	200名
4月	kabu.studio	第4回 ペンタゴンチャートの使い方【前・後編】	15,140アクセス
4月	kabu.studio	第5回 はじめてでも簡単実践「カブワラント」投資術	2,301アクセス
4月	セミナー	第24回 株スクール for ビギナー	500名
5月	カブドット塾	kabuマシーン™(初級編)	20名
6月	カブドット塾	kabuマシーン™(初級編)(計3回実施)	44名
6月	kabu.studio	第6回 「入金方法」編	5,188アクセス
7月	カブドット塾	kabuマシーン™(初級編)(計2回実施)	24名
8月	カブドット塾	kabuマシーン™(初級編)(計2回実施)	40名
8月	kabu.studio	第7回 「らくらくブックビルディング」編	1,602アクセス
8月	kabu.studio	第8回 実践 eワラント入門【前・後編】	948アクセス
9月	kabu.studio	第9回 「一般信用取引」編	760アクセス
9月	カブドット塾	kabuマシーン™(初級編)(計2回実施)	40名
9月	セミナー	第25回 株スクール in 津田ホール	350名
9月	セミナー	ネット証券評議会/個人投資家セミナー「もっと自由に株式投資を」	2,000名
9月	kabu.studio	第10回 「kabuマシーン™取引」編	563アクセス

\*アクセス数は9月末現在



# コーポレート・ガバナンスの特徴－1

## 当中間期に、当社は「委員会等設置会社」へ移行

- 経営監視と業務執行の分離や、社外取締役の活用が特徴
- 日々の業務執行を担当「執行役」、会社を代表する「代表執行役」、取締役は経営の監督を担う  
⇒ 経営の迅速化や、社外取締役<sup>(※)</sup>の活用による経営の透明性の向上が期待

※ 当社の取締役は8名中7名が社外取締役であり、その陣容は公認会計士/システム監査技術者、弁護士を含む多彩な人材により構成されております。

## 当社のコーポレート・ガバナンスの歩み

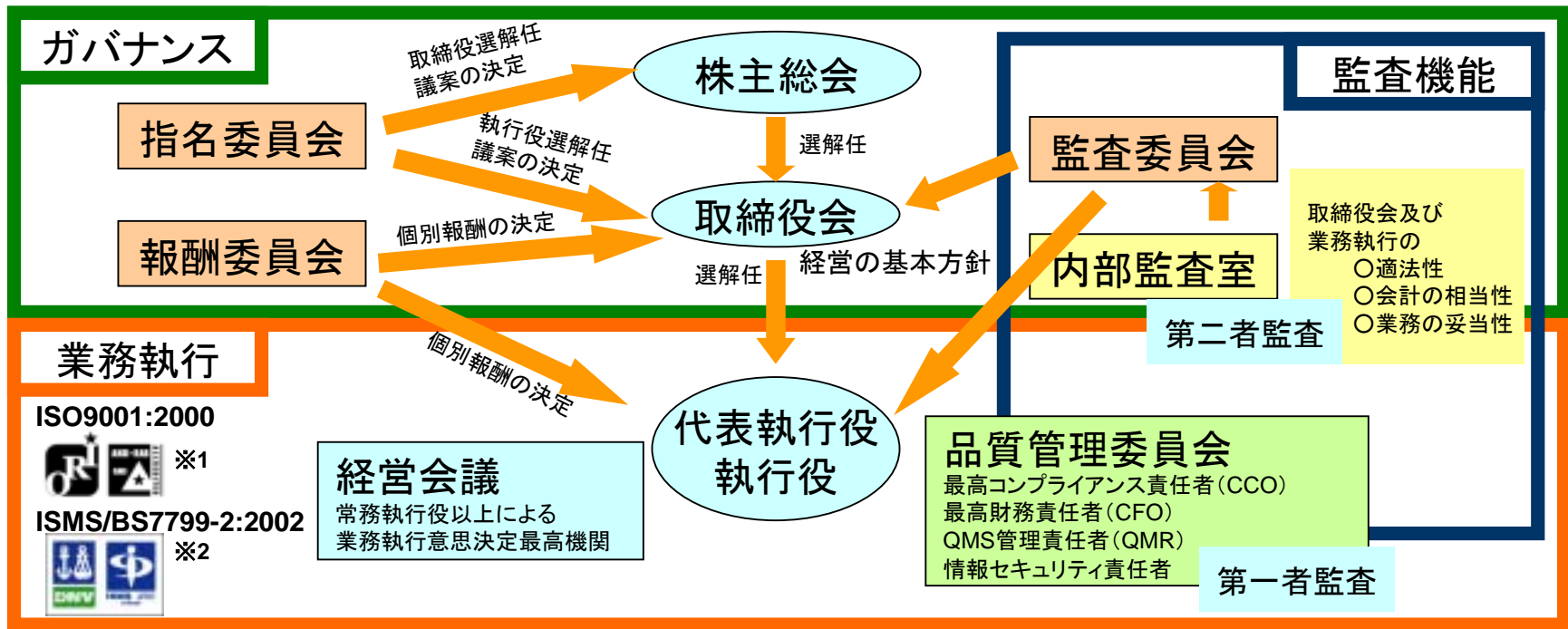
2001年 4月	「経営監督と業務執行の分離」がコーポレートガバナンスの効果的な実施に必要と考え、合併当初から執行役員制度を導入
2002年12月	委員会等設置会社への移行を視野に入れ、「指名・報酬委員会」、「業務監査委員会」を設置
2003年11月	「指名・報酬委員会」「業務監査委員会」によるコーポレート・ガバナンス体制を約1年に渡って試行した結果、経営の効率性及び実効性を確認、臨時株主総会にて「委員会等設置会社」への移行を決議
2004年 6月	本年度の株式公開(予定)や今後の証券仲介業ビジネスへの本格的参入を視野に入れ、より一層のコーポレート・ガバナンスの強化を図った会社運営体制とするため、「委員会等設置会社」へ正式に移行

# コーポレート・ガバナンスの特徴ー2

株主利益の極大化を図る

Plan Do Check Action

による経営管理モデル



※1 2003年6月 国内ネット証券では初めて、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001(2000年版)の認証を取得

※2 2004年5月 国内証券会社では初めて、情報セキュリティ管理の標準規格であるISMS適合性評価制度(Ver2.0)と、同じく情報セキュリティ管理の国際規格であるBS7799-2(2002年版)の認証を同時に取得



カブドットコム証券株式会社

カブドットコム証券は、伊藤忠商事・UFJ銀行などが出資するオンライン専門の証券会社です。